

邑楽町下水道事業における ウォーターＰＰＰの導入に関する アンケート調査結果

令和7年12月

邑楽町 都市計画課 下水道係

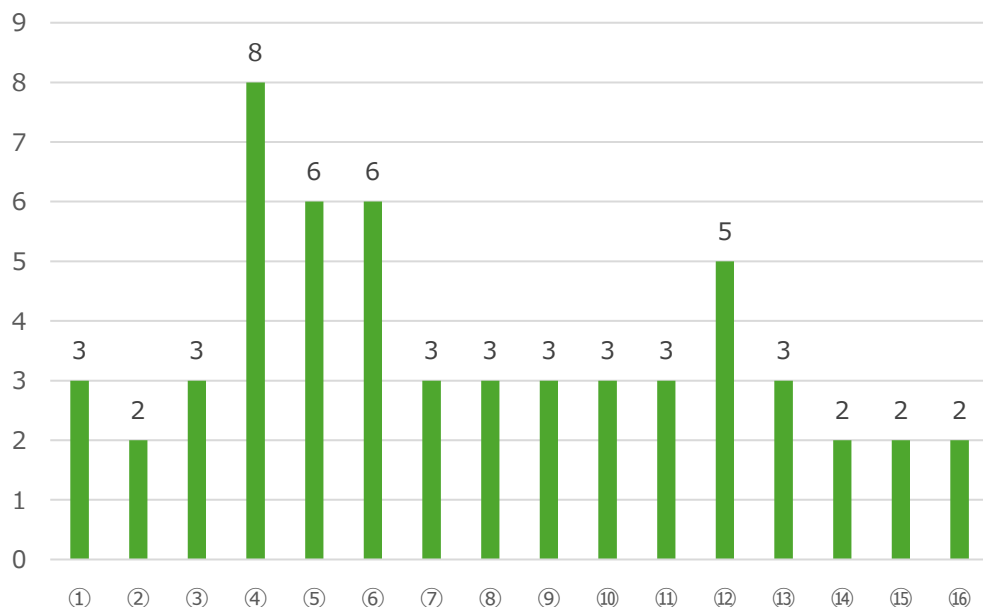
調査の実施概要

項目	内容
目的	官民連携による下水道事業の効率化や持続可能性向上に資するため、民間事業者の意見・参入意向を把握。
方法	邑楽町ホームページ上にアンケートフォームを掲載し、電子メールによる周知。
質問	質問1 貴社の事業などに関する質問 質問2 邑楽町の下水道事業における官民連携に関する質問 質問3 邑楽町の下水道事業におけるウォーターPPPに関する質問 質問4 その他、ご意見・ご質問等について
期間	令和7年11月4日（火）～令和7年11月28日（金）午後5時まで （実施要領の公表～アンケート受付の終了）
回答数	全11社より回答を得られた。

調査の結果

【質問1 貴社の事業などに関する質問】

1-1 貴社の主たる事業について、お答えください。（複数回答可）



- ① コンサルタント（下水道管路施設）
- ② コンサルタント（下水道処理場施設）
- ③ コンサルタント（マンホールポンプ）
- ④ 維持管理（下水道管路施設：点検・調査）
- ⑤ 維持管理（下水道管路施設：清掃）
- ⑥ 維持管理（下水道管路施設：修繕）
- ⑦ 維持管理（マンホールポンプ：運転管理）
- ⑧ 維持管理（マンホールポンプ：修繕）
- ⑨ 維持管理（下水道処理場施設：運転管理）
- ⑩ 維持管理（下水道処理場施設：修繕＜機械・電気設備＞）
- ⑪ 維持管理（下水道処理場施設：修繕＜土木・建築躯体＞）
- ⑫ 工事（下水道管路施設）
- ⑬ 工事（マンホールポンプ）
- ⑭ 工事（下水道処理場施設：機械設備）
- ⑮ 工事（下水道処理場施設：電気設備）
- ⑯ その他

その他の内容

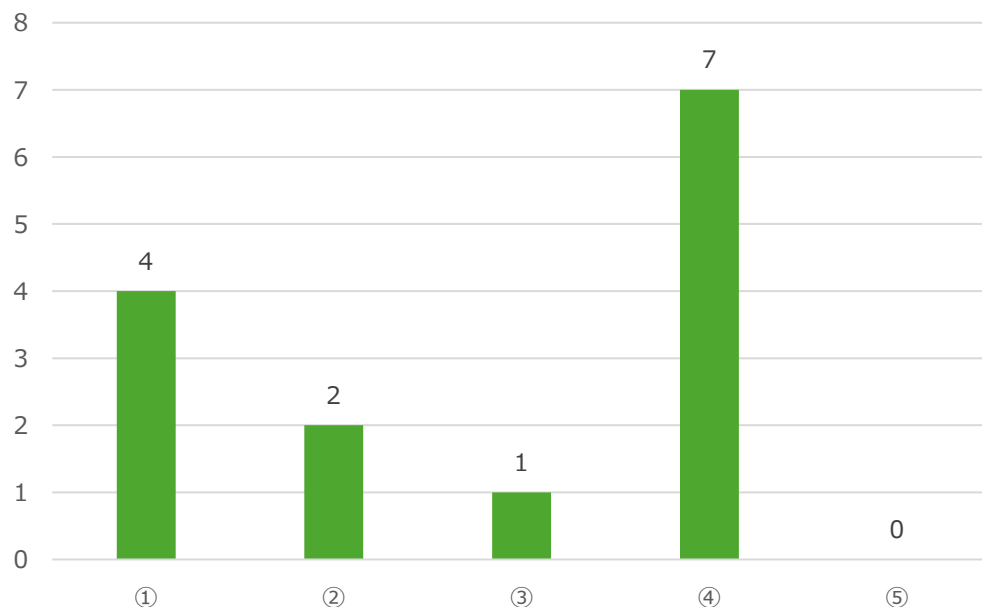
- ・ 工事(マンホール蓋交換工事)
- ・ 下水道台帳等情報マネジメント業務

調査の結果

【質問1 貴社の事業などに関する質問】

1-2 官民連携事業の受注又は応札実績について、お答えください。(複数回答可)

※包括的民間委託等、官民連携事業の実績についてお答えください。

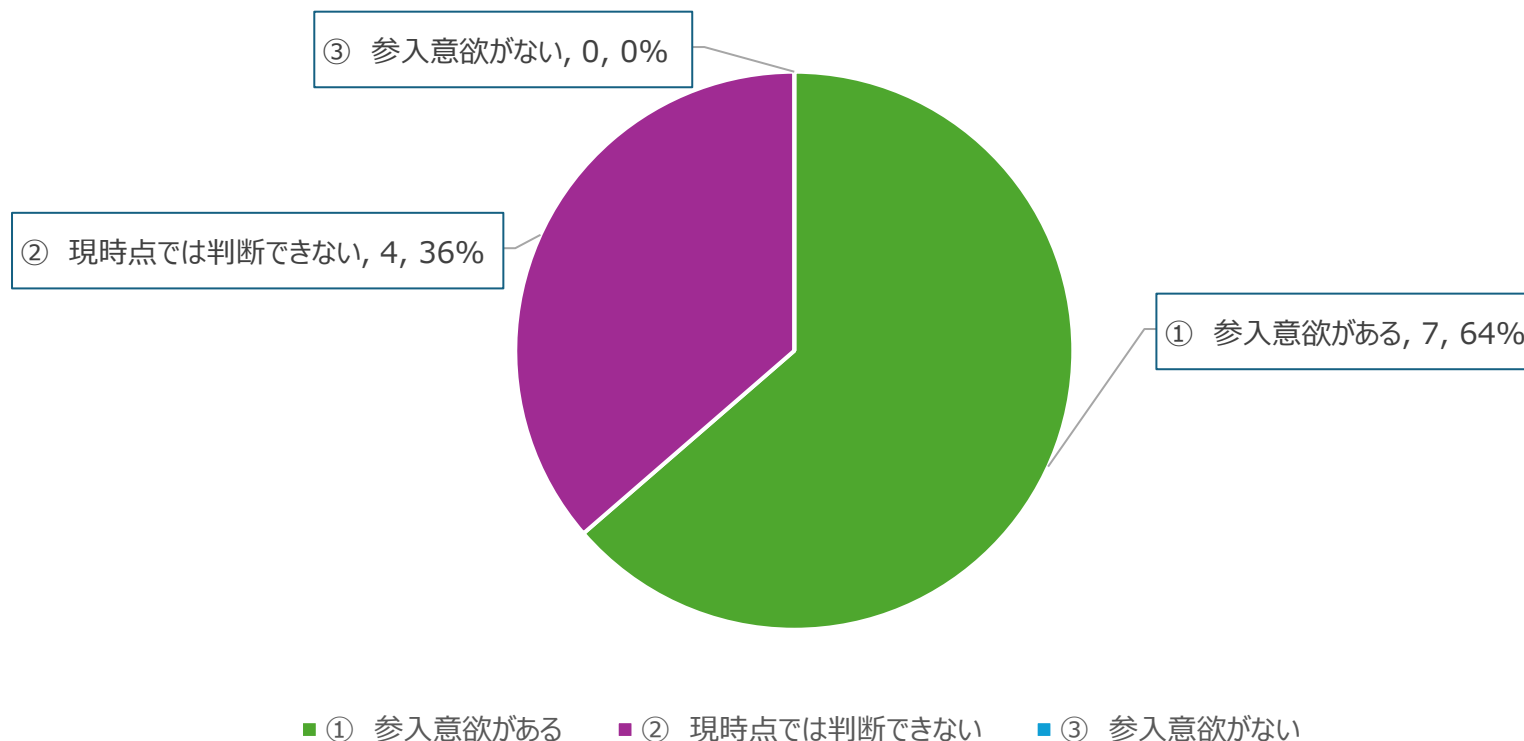


- ① 包括的民間委託（下水道処理場・ポンプ場等の施設）
- ② 包括的民間委託（下水道管路施設）
- ③ コンセッション（下水道事業）
- ④ 官民連携事業の実績なし
- ⑤ その他

調査の結果

【質問2 邑楽町の下水道事業における官民連携に関する質問】

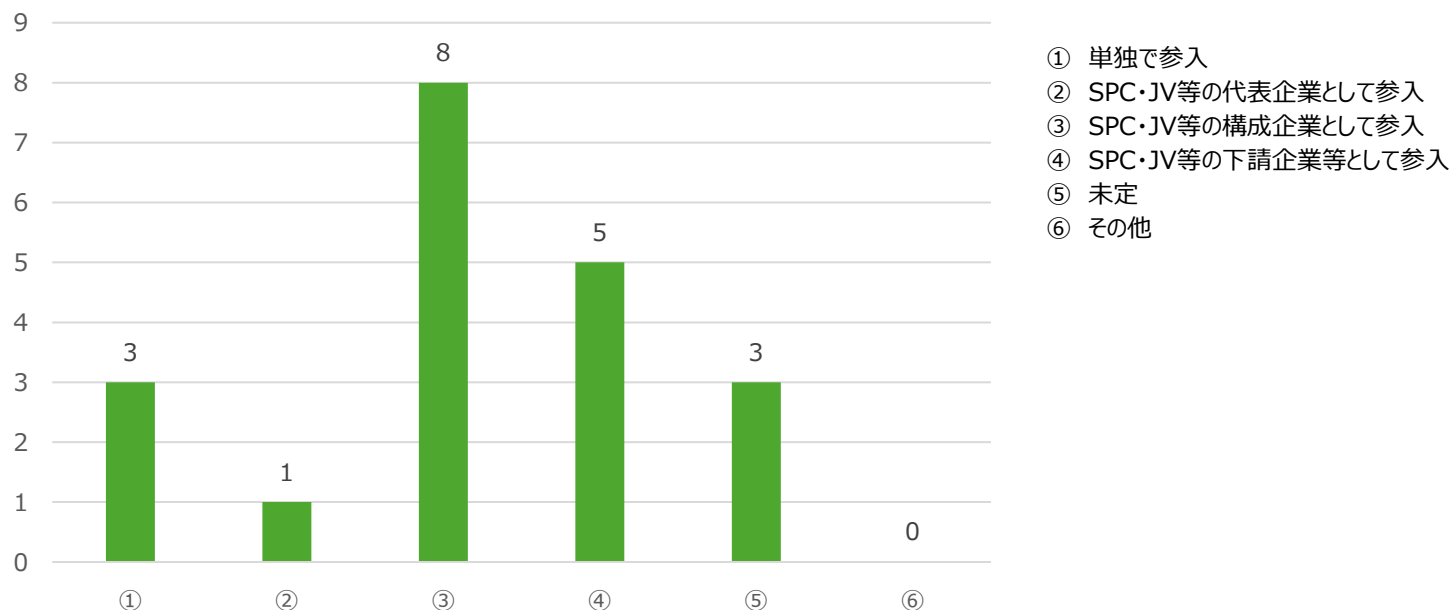
2-1 邑楽町が下水道事業にウォーターPPPを導入する場合、参入の意欲について、お答えください。（該当する項目1つに回答）



調査の結果

【質問2 邑楽町の下水道事業における官民連携に関する質問】

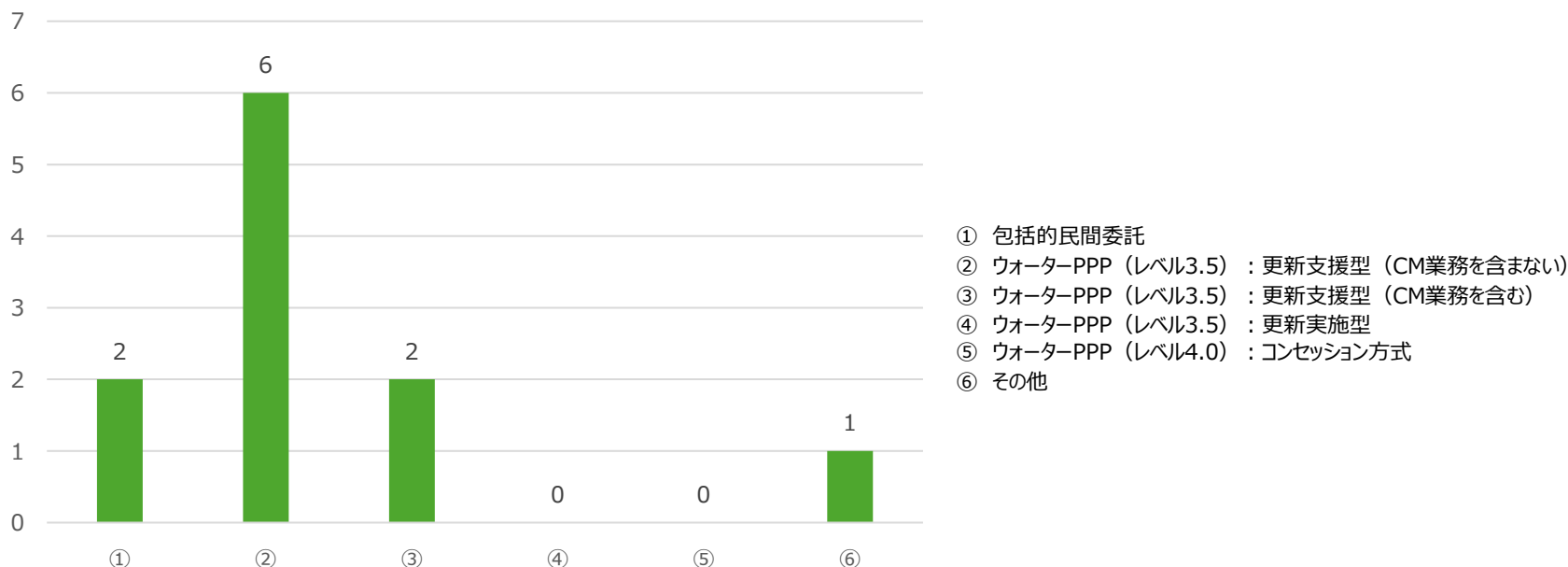
2-2 想定している参入体制について、お答えください。（複数回答可）



調査の結果

【質問2 邑楽町の下水道事業における官民連携に関する質問】

2-3 邑楽町が**管路施設**に官民連携手法を導入するにあたり、最もふさわしいと考える方式をお答えください。(該当する項目1つに回答)

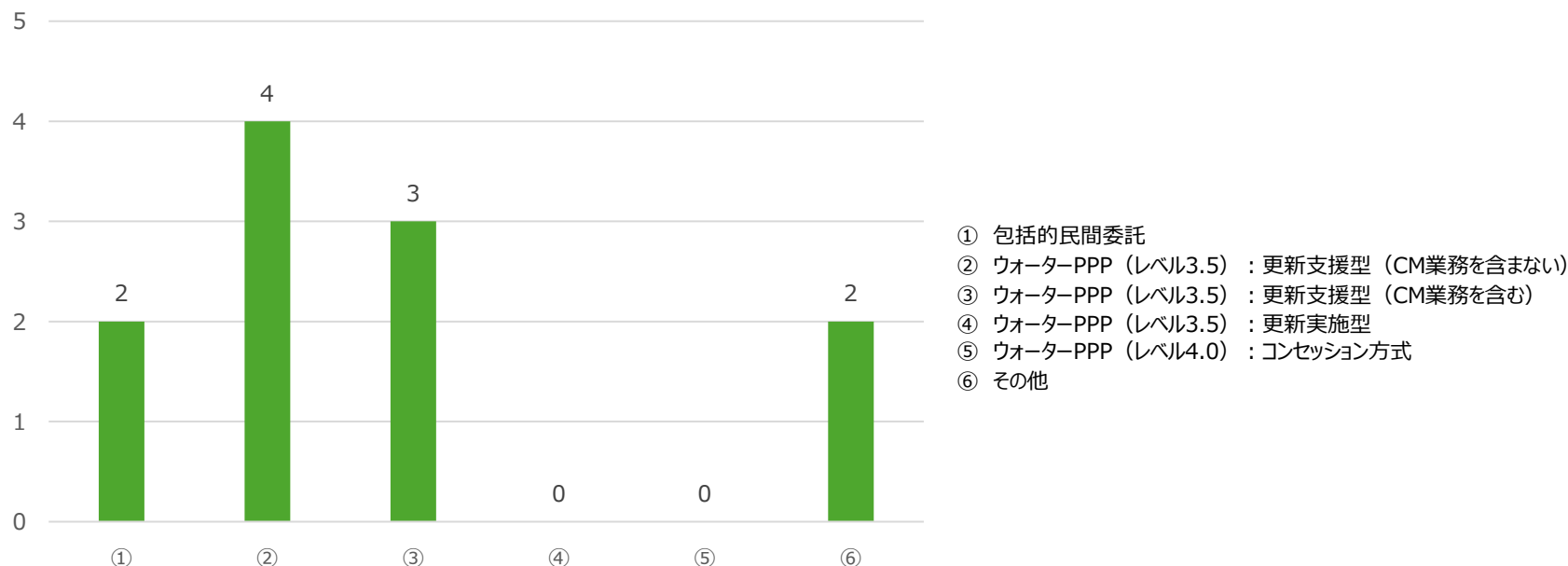


その他の内容
・現時点では不明の為

調査の結果

【質問2 邑楽町の下水道事業における官民連携に関する質問】

2-4 邑楽町がマンホールポンプなどの施設に官民連携手法を導入するにあたり、最もふさわしいと考える方式をお答えください。(該当する項目1つに回答)



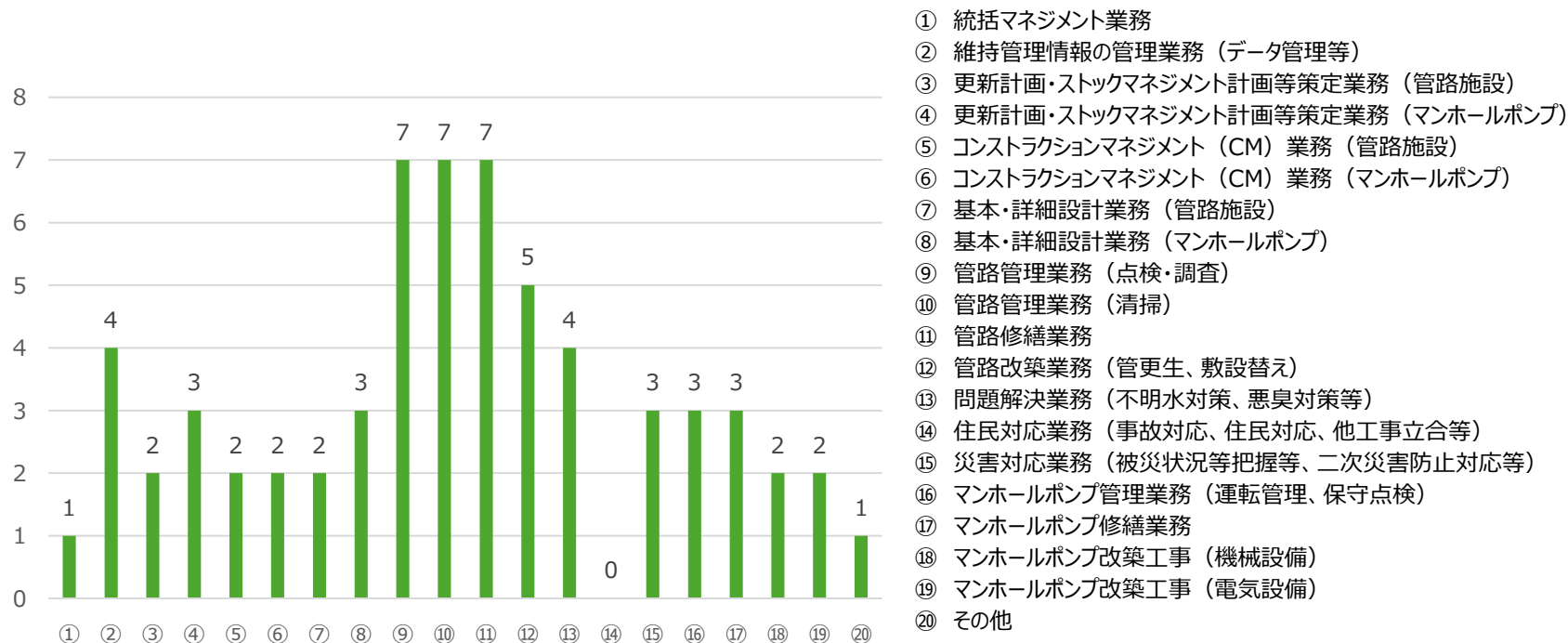
その他の内容

- ・対応業務ではない
- ・現時点では不明の為

調査の結果

【質問2 邑楽町の下水道事業における官民連携に関する質問】

2-5 邑楽町のウォーターPPP事業へ参入する場合、貴社が担当を想定している業務について、お答えください。(複数回答可)



その他の内容

・下水道台帳等情報マネジメント業務

調査の結果

【質問2 邑楽町の下水道事業における官民連携に関する質問】

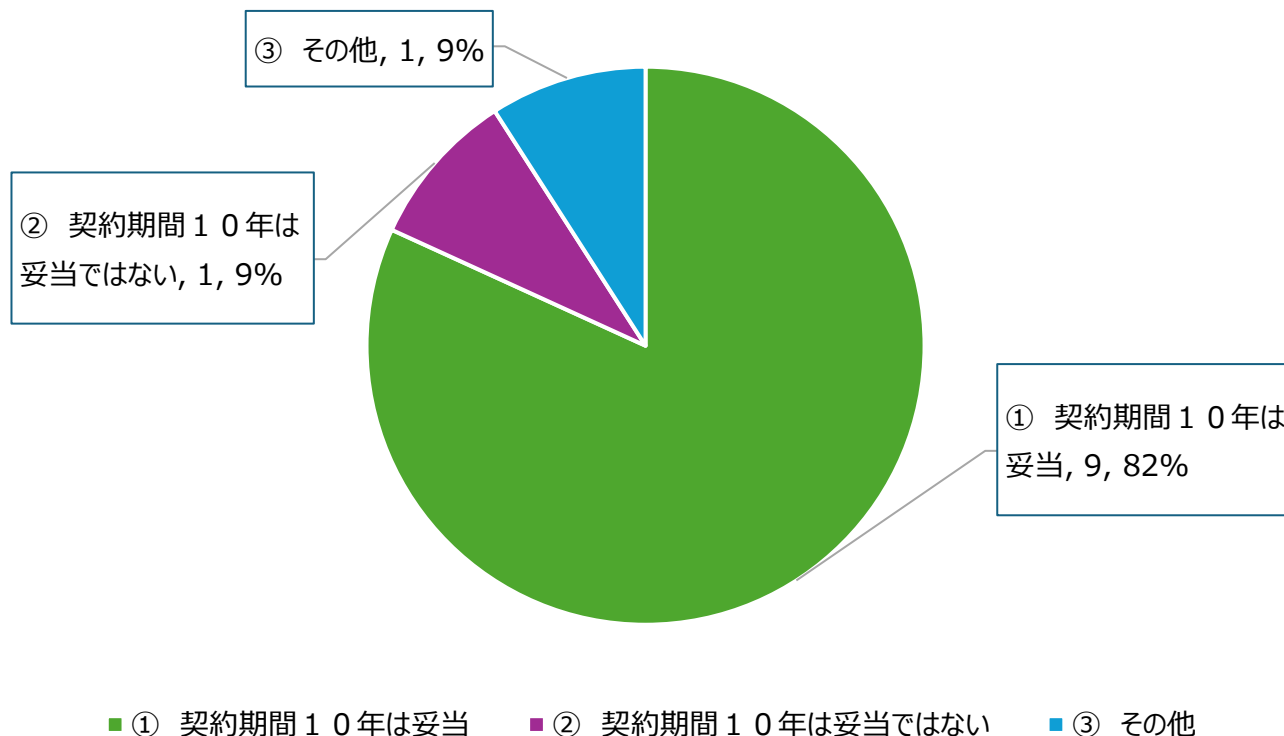
2-6 2-1で「参入意欲がない」を選択された理由について、教えてください。(複数回答可)

参入意欲がないという回答は、ありませんでした。

調査の結果

【質問3 邑楽町の下水道事業におけるウォーターPPPに関する質問】

3-1 邑楽町が下水道事業にウォーターPPPを導入する場合、契約期間は10年とする予定です。契約期間について、お答えください。（該当する項目1つに回答）



その他の内容
・詳細が不明の為

調査の結果

【質問3 邑楽町の下水道事業におけるウォーターPPPに関する質問】

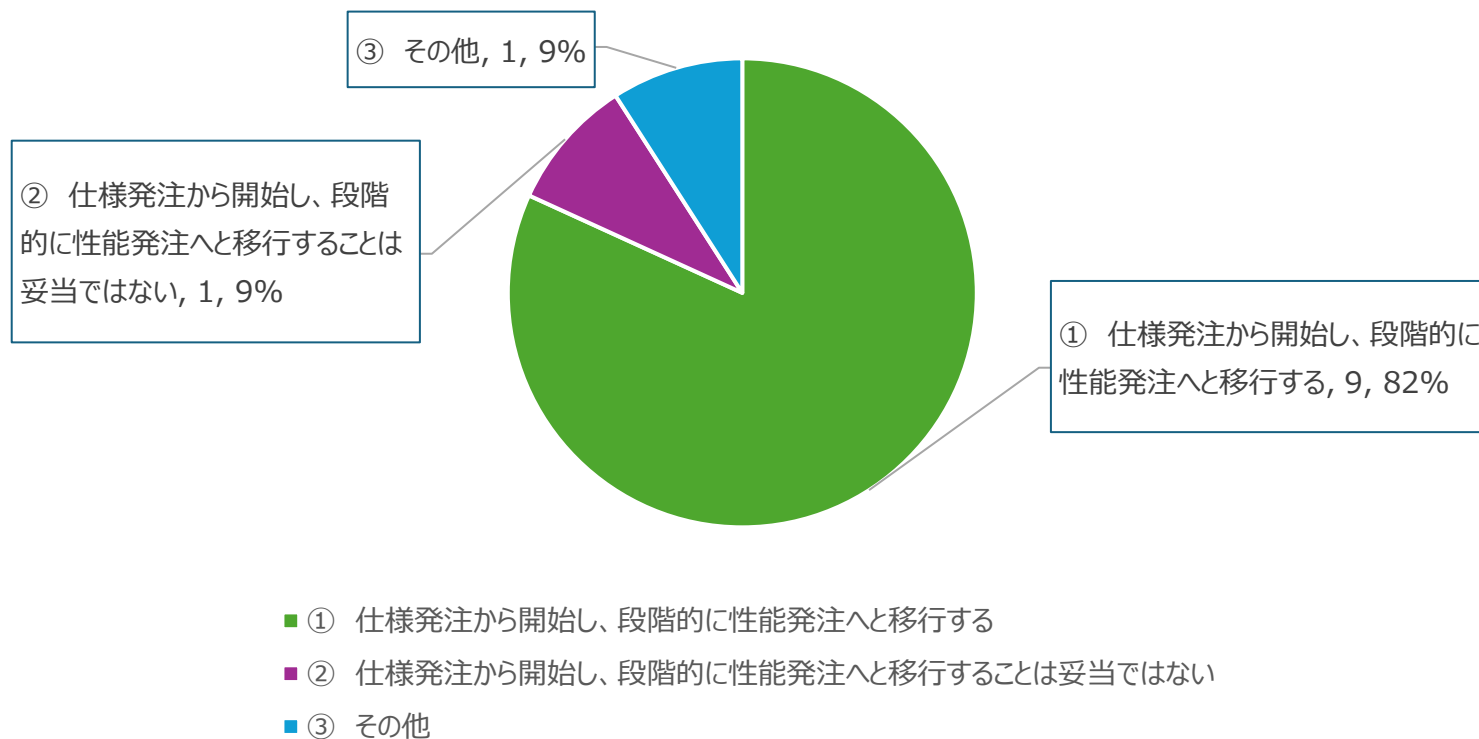
望ましいと思う契約期間と理由について、ご記入ください。

年数など	理由
5年間	(回答なし)
詳細が不明の為回答ができません	(回答なし)

調査の結果

【質問3 邑楽町の下水道事業におけるウォーターPPPに関する質問】

3-2 邑楽町が下水道事業にウォーターPPPを導入する場合、性能発注を前提とする予定です。管路施設については、仕様発注から開始し、段階的に性能発注への移行を予定しています。発注方式について、お答えください。（該当する項目1つに回答）



その他の内容

・妥当と考えますが、性能項目次第と考えます。

調査の結果

【質問3 邑楽町の下水道事業におけるウォーターPPPに関する質問】

仕様発注から開始し、段階的に性能発注へと移行することは妥当ではないと考えた理由について。

理由

- ・初年度から性能発注を実施できるだけの施設情報が少ないため、効果的な性能発注は難しいと考える。
- ・初年度は性能発注に移行するための施設の劣化状況を把握し、今後の劣化予測を行うための仕様発注にする。
- ・契約期間全体では性能発注として契約する。

調査の結果

【質問3 邑楽町の下水道事業におけるウォーターPPPに関する質問】

望ましいと思われる発注方式について。

内容

現時点で、邑楽町ストックマネジメント計画に基づき、便宜的に性能発注することは可能と考える。

調査の結果

【質問3 邑楽町の下水道事業におけるウォーターPPPに関する質問】

現時点で想定される、管路の性能発注の指標設定等について、ご意見をお聞かせください。

ご意見

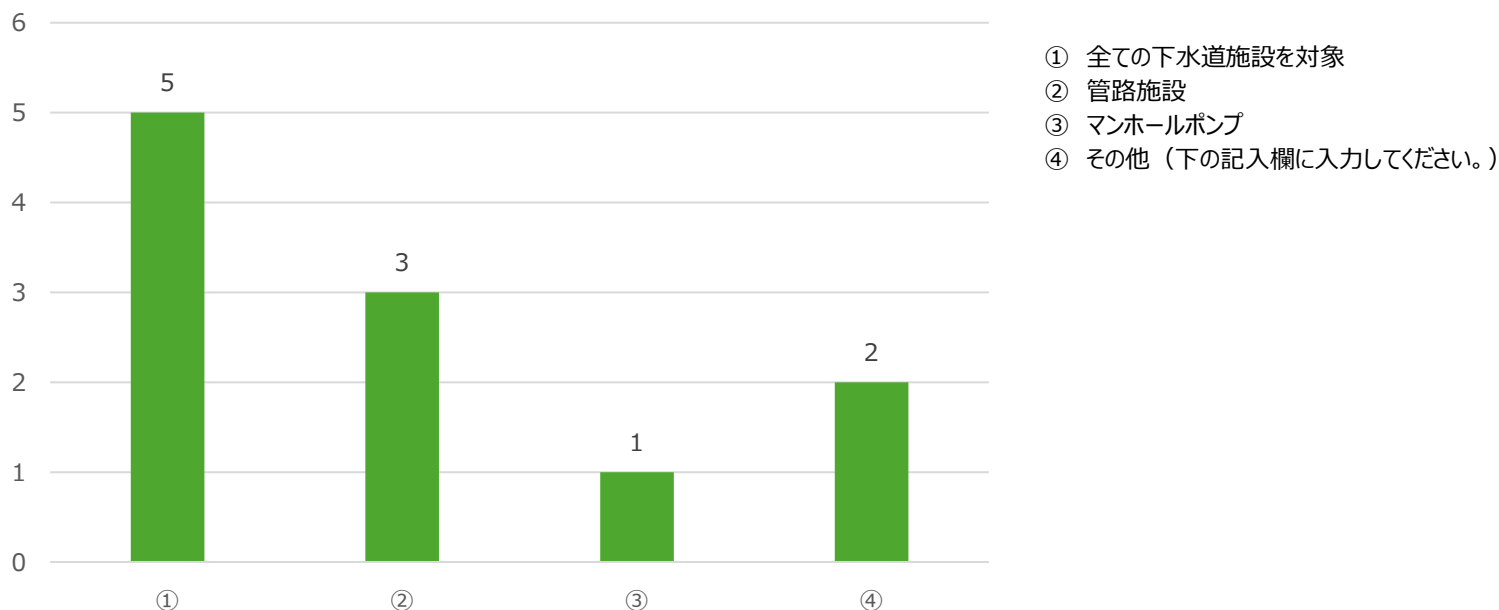
- ・性能指標によりますが、道路陥没件数等を指標とするのであれば、管路諸元情報に加え、管路調査・診断場所及び結果情報が入ったSHAPEデータが必要です。
- ・業務範囲が膨大であると考ええると全ての性能規定（道路陥没、溢水、詰まり発生件数など）の指標値をゼロにするのは非常に難しいと思いますので、経過観察しながら適正な指標値を検討していく必要があると考えております。
- ・施設老朽度（標準耐用年数超過管理比率）
- ・改善状況（改善管渠延長比率）
- ・事故発生状況（道路陥没箇所数－管渠1kmあたり）
- ・維持管理費用（管渠維持管理費－管渠1mあたり）等
- ・管路情報の分析等詳しい情報が無いため、現段階では特にありません。
- ・劣化予測に基づき、管路施設の緊急度Ⅰ、機械・電気設備の健全度Ⅰに至る年数の設定は可能なので、緊急度Ⅰ、健全度Ⅰを発生させないための点検調査量を設定することは可能。
- ・施設の長期劣化シナリオに基づき、緊急度Ⅱ、健全度Ⅱ以上で推移させるための最適点検・調査シナリオを設定し、10年間の契約期間内で必要な調査・点検量を算定する。
- ・官、民で共通認識しやすく複雑でない指標設定を用いる
- ・受注者の技量による差が出てしまう可能性がある。

調査の結果

【質問3 邑楽町の下水道事業におけるウォーターPPPに関する質問】

3-3 邑楽町が下水道事業にウォーターPPPを導入する場合、管路施設、マンホールポンプ等を含めた全ての下水道施設を対象とする予定です。

また、コンストラクションマネジメント(CM)を含む『更新支援型』を予定しています。事業の対象とする施設について、お答えください。(該当する項目に回答)



その他の内容

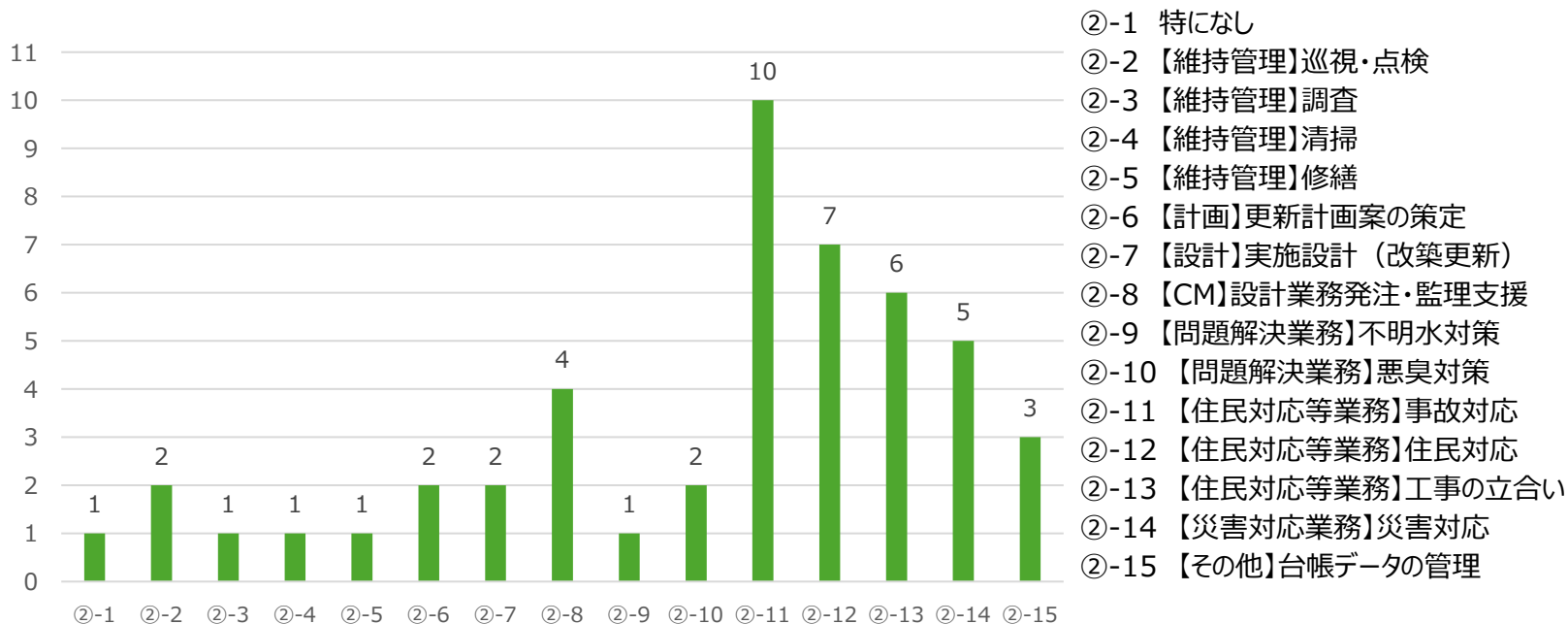
- ・施設は管路施設のみを希望しますが、CMを含まない更新支援型を希望します。
- ・CMを含まないを選択している為

調査の結果

【質問3 邑楽町の下水道事業におけるウォーターPPPに関する質問】

3-4 3-3で選択した対象施設に対し、事業の対象とする業務について、**含むことが望ましくない**と考える業務について、お答えください。(該当する項目に回答)

【管路施設】

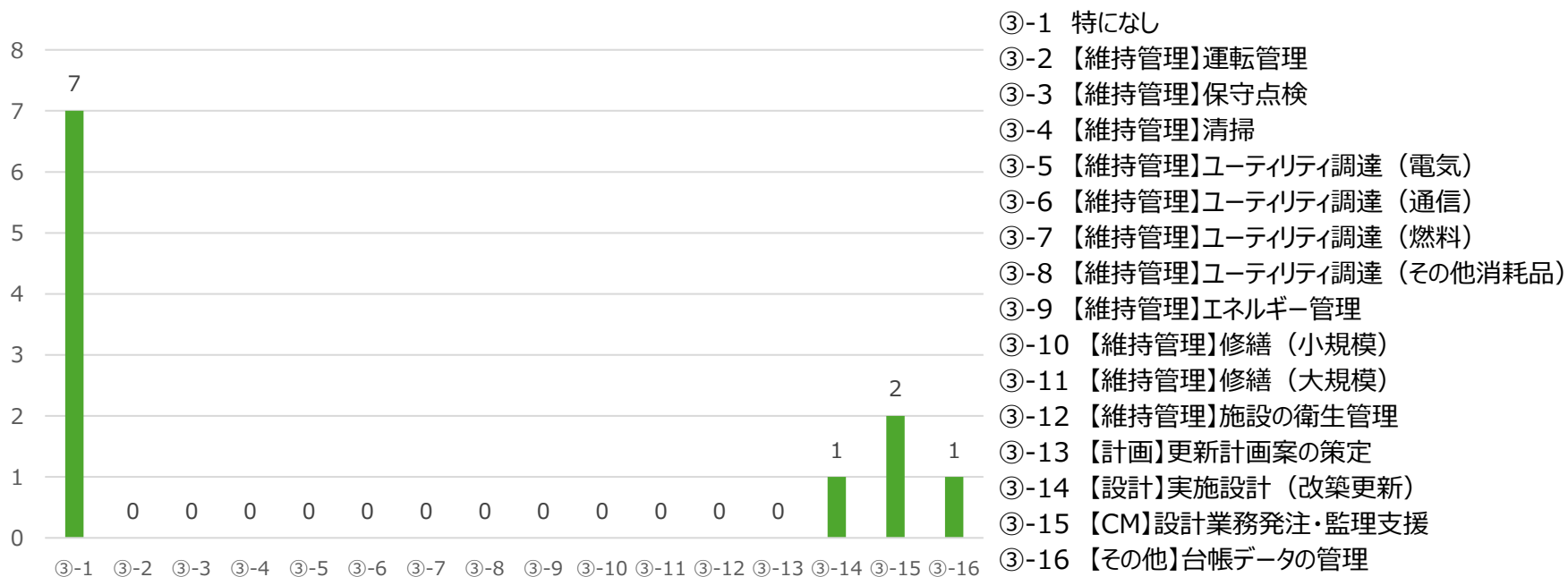


調査の結果

【質問3 邑楽町の下水道事業におけるウォーターPPPに関する質問】

3-4 3-3で選択した対象施設に対し、事業の対象とする業務について、**含むことが望ましくない**と考える業務について、お答えください。(該当する項目に回答)

【マンホールポンプ】



調査の結果

【質問3 邑楽町の下水道事業におけるウォーターPPPに関する質問】

3-4において、望ましくない業務として選択した理由があれば、ご記入ください。

分類	理由
住民対応・ 事故対応	<ul style="list-style-type: none">・ 事故対応は全てを民間には任せず、住民との直接的な接触は一部官側も対応した方が円滑となるケースがあると想定される。・ 住民対応等業務については、迅速に住民に対して対応するため、近隣での常駐が必要になると思うので常駐が難しいと判断しました。・ 住民対応については、段階的に判断した方が良いと考えます。災害対応については程度の判断が難しいと考えております。・ 住民対応業務について、町の所有施設であるため、住民側の立場からすると所有者からの対応が望ましいと考えます

調査の結果

【質問3 邑楽町の下水道事業におけるウォーターPPPに関する質問】

3-4において、望ましくない業務として選択した理由があれば、ご記入ください。

分類	理由
業務範囲・ 役割分担	<ul style="list-style-type: none">・ 弊社が検討している管路施設についてですが、管路施設の巡視・点検について現在行っていない場合は人件費などのコスト増が見込まれると思いますので効果及び実施有無の検討も必要だと思います。CMについてはCMを含まないウォーターPPPの運用をある程度実施し経験を得てからのの方が良いと考えております。また、弊社は更新支援型を提案していますので住民対応については、住民に対して民間企業が直接対応することを周知・理解を得てからの運用が良いと思います。今後決定するウォーターPPPのスキームにより検討する対象業務を考える必要があると考えております。
対応範囲 (対応可否)	<ul style="list-style-type: none">・ 管路施設「悪臭対策」利用者由来に起因する問題についての対応はレベル3.5の対応内容になじまない。・ マス-取付管-本管-マンホールの構造、管理に起因する問題であれば対応が必要である。・ 「事故対応」事故の種類を選定すれば対応できる。 主に管路施設の流下阻害に起因する1次被害程度が対応可能である。・ 「住民対応」内容にもよるが、原則不可能。・ 「災害対応」災害の種類、対応内容による。
その他	<ul style="list-style-type: none">・ 今まで工事監督業務を行っていないと思われませんが、工事監督業務に係わる費用を維持管理費にまわして欲しい。

調査の結果

【質問3 邑楽町の下水道事業におけるウォーターPPPに関する質問】

3-5 邑楽町が下水道事業にウォーターPPPを導入する場合、プロフィットシェアの仕組みを導入する予定です。詳細については、国の動向を注視していきます。

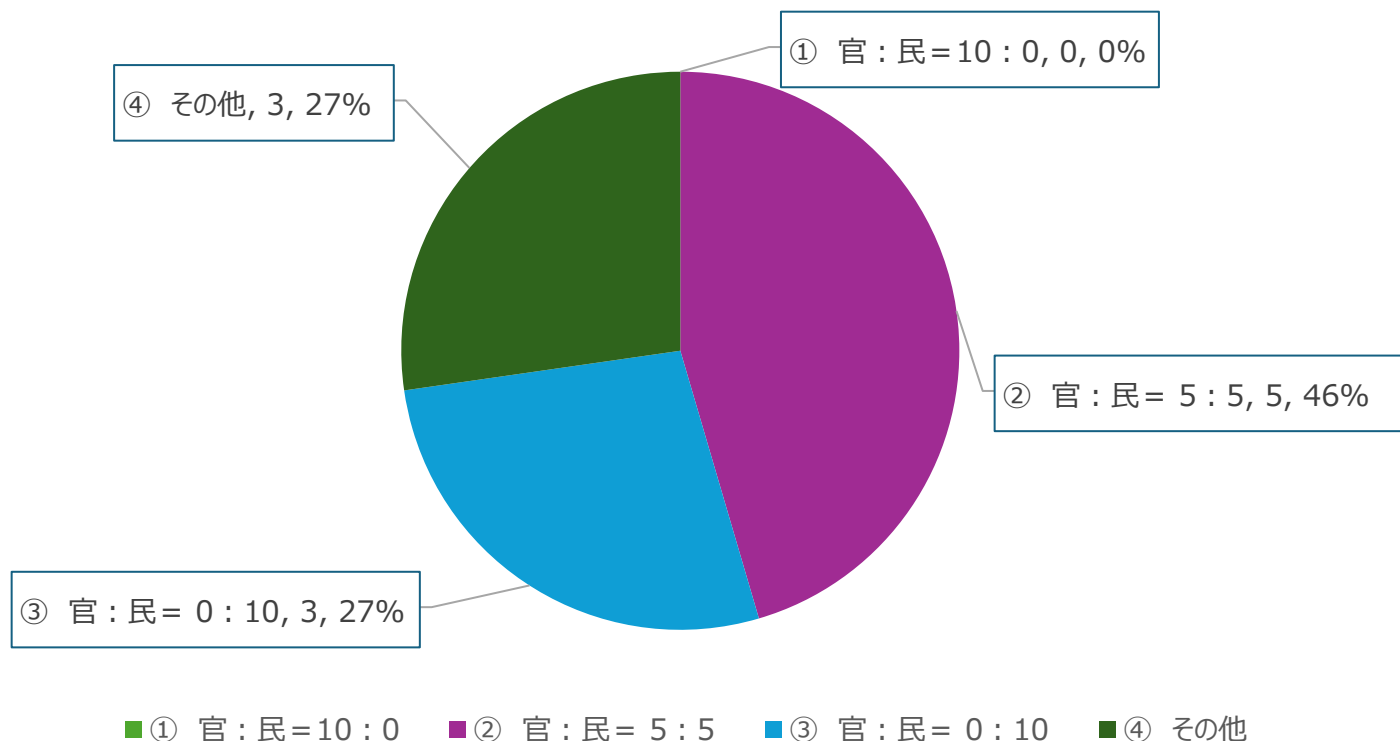
現時点で考えられる【コスト縮減分(プロフィット)】について、ご意見をお聞かせください。

分類	ご意見
仕組みについて	<ul style="list-style-type: none">・コスト縮減が官民に反映されるのは良いと考えております。・経済的な維持管理手法、修繕工法、改築・更新方法の提案が採用された際のプロフィットの扱いについて、検討する必要がある。・経済性だけでなく、LCCの観点も取り入れたプロフィットを目指す必要がある。・官、民が公平に成果を分配できる仕組みが重要と考えます・PPP事業者が複数自治体の調達を束ねることで、邑楽町単体よりも有利な調達単価が実現するのではないのでしょうか
その他	<ul style="list-style-type: none">・現段階では、リスク等の判断が出来ないので意見はございません。

調査の結果

【質問3 邑楽町の下水道事業におけるウォーターPPPに関する質問】

現時点で考えられる【官民のシェア割合】について、ご意見をお聞かせください。



その他の内容

- ・ 官 : 民 = 1 : 9
- ・ 官 < 民
- ・ 定量的に数値よりも、行政サービスへの貢献として何か実施する様な方法が望ましいと考えます。

調査の結果

【質問3 邑楽町の下水道事業におけるウォーターPPPに関する質問】

【官民のシェア割合】のご回答理由について、ご意見をお聞かせください。

ご意見

- ・コスト縮減分は、企業努力として認めてもらいたい
- ・民間の企業努力によって民間の利益が低くなるのは導入が進まない為。
- ・官民が一体となってお互いにパートナーとして行う必要があるため、民間側が努力し経費削減となった場合は、認めて頂ければ民間側のモチベーションも向上すると思われるため、割合を多くして頂ければと思います。
- ・双方に効果が反映される方が良いと思いますが、民間の努力がより反映させる方がコスト削減の意欲にもつながり良いと考えております。
- ・官民連携方式なので5：5が妥当と思います。
- ・数値的な判断が難しいから
- ・原則的には官民5：5とする。
- ・民間側の割合を大きくすることで、コスト縮減への継続的な企業努力につながると考えます。
- ・双方の関係性が対等の方がバランスが良いのではないかと思います。

調査の結果

【質問3 邑楽町の下水道事業におけるウォーターPPPに関する質問】

その他プロフィットシェアの仕組みについて、ご意見をお聞かせください。

ご意見

- ・ 効果が反映されることは良いと考えております。
- ・ プロフィットシェアのうち、何割かを不足している事案に対して費用を充てる等の業務として還元されることが望ましいと思います。
- ・ 原則的には官民5：5とするが、プロフィットの内容により柔軟に設定することが必要。
例えば、企業努力により企業側に利益が生じる場合（例えばユーティリティの削減）は民の割合を増やす。
企業提案により自治体に利益が生じる場合（新工法の提案により工事費が削減）は官の割合を増やす等のルールを設定する。
- ・ シェアする部分を明確にしておく必要があると考えます
- ・ 収益が出た場合の分配の割合をどの様にするかと言ったところは、問題にならない様に確実に決めた方がよいかと思います。

調査の結果

【質問4 その他、ご意見・ご質問等について】

4-1 邑楽町のウォーターPPP事業について、ご意見やご質問等ありましたら、お聞かせください。

ご意見

- ・ 事業内容に対しての適切な設計価格の設定をお願いします。
- ・ ユーティリティにおける公共料金等の変動、法令改正による業務内容の変更等に対して柔軟な対応が必要と考えます。
- ・ 今後も説明会等がありましたら、ご案内下さい。
- ・ 人口減少や施設の老朽化が進む中、ライフサイクルコストの最適化、運転保守の効率化、災害対応力の向上などの観点で、ウォーターPPP3.5方式は有効な選択肢であると思います。
- ・ 事業方式の検討にあたっては、以下の点を考慮してはと考えております。
 - ①リスク分担の整理（災害時対応、人件費変動、更新投資の扱い等）
 - ②性能指標（KPI）と成果連動の考え方（今後、事業計画書に記載する内容との連動、連携が必要になってくると考えている）
 - ③職員の役割および体制維持方針（民間と効率的に下水道事業を運用するため）
- ・ 今までの実績や貢献度を業者選定時に考慮された方が良いのではないのでしょうか。

まとめ・今後の方針

今回のマーケットサウンディングでは、邑楽町下水道事業に関する多様なご意見やご提案をいただきました。

サウンディングを通じて、下水道施設の維持管理に長年取り組む企業をはじめ、官民連携に前向きな意欲を示す企業の存在を確認することができ、今後の検討に向けた貴重な知見を得ることができました。

いただいたご意見・ご提案は、今後の事業方式や業務範囲、役割分担の整理等の参考とさせていただきます。邑楽町における下水道事業の官民連携の検討に活用してまいります。